



仙北市保健課

(こども家庭センター)

妊娠期から子育て期までの
切れ目ない支援をします。



【電話相談 / 仙北市保健課】

《固定電話》 0187-43-2252

《携帯電話》 080-2813-0835



冬に流行するこどもの感染症

冬は「寒さ+乾燥」がウイルスにとって好都合であり、またこどもたちの免疫力も低下する季節です。今回は冬に流行する感染症とその対処方法についてお伝えします。

冬に流行する感染症と症状	対処方法
インフルエンザウイルス 発熱（38℃以上）、頭痛、関節痛、全身のだるさ、鼻水・咳などの風邪症状があります。普通の風邪よりも急に強い症状が出るのが特徴です。	発熱から 6～12 時間を目安に小児科を受診しましょう。適切な時期に正しくお薬を飲むことで、熱が早く下がったり、ウイルスの量が減ったりと効果が期待できます。
RSウイルス 発熱、鼻水、咳など軽い症状ですむことが大半ですが、初めての発症や乳児期での発症だと肺炎など重症化することがあります。	ひどい咳やゼーゼーという胸の音が聞こえたら、早めに小児科を受診しましょう。ウイルスに対する薬はなく、鼻水や咳などの症状に対する治療が基本です。
ノロウイルス・ロタウイルス 感染性胃腸炎です。発熱・下痢・急な嘔吐を起こします。乳幼児は重症化することがあります。ロタウイルスでは、便が白っぽくなります。	下痢や嘔吐で体の水分が失われるので、こまめな水分補給と少量の塩分を補給しましょう。下痢止めはウイルスの排出を遅らせるので使用は控えましょう。

～予防方法～

予防の基本「手洗い・うがい・マスクの着用」を心がけましょう！

小さなお子さまがいるお家では、大人の方も予防につとめましょう。オムツは密閉処理する、タオルの共有を避けることなども感染を広めないために重要です。免疫力を高めるため、普段から規則正しい生活を送り、水分補給をこまめにして乾燥を防ぎましょう。

仙北市ではインフルエンザワクチンの費用を助成しています。発症を防ぐため、また発症しても重症化を防ぐために予防接種を受けましょう！



こども救急電話相談室

夜間におけるこどものけがや病気への対応方法や受診について判断に迷うときにお気軽に電話で相談してください。

◆毎日 19:00～翌朝8:00

◆電話番号 #8000
018(895)9900